



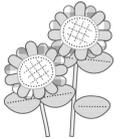
## 所沢市民放射線測定室「とこらぼ」ニュースレター2018年8月

発行:とこらぼ運営委員会

メールアドレス [tokolabo2013@gmail.com](mailto:tokolabo2013@gmail.com) ホームページ <http://children-foundation-tjimdo.com/>

Facebook <http://www.facebook.com/tokorozwahousyasensokuteijo>

いつも「とこらぼ」にご支援いただきありがとうございます。地震や洪水、そして記録的な暑さと、心穏やかでない夏を迎えました。どんなに時間や労力をかけた人間の構造物も自然の力の前で一瞬にして失われてしまうことを実感しています。自然の摂理として起こる災害と共に生き、被害を最小限に食い止める暮らしのあり方を改めて次の世代に引き継ぎたいです。その思いを忘れないためにも、測定を継続していきます。今後ご協力よろしくお願いします。



### ●最近の測定結果 2018年3月-2018年6月

#### <きのこ(茸)>

所沢市産椎茸(原木栽培生)は137Csが12.1Bq/kgで、P(ピーク)を検出しました。  
長野県産椎茸(菌床栽培生)は137Csが2.75Bq/kgで、P(ピーク)は検出しました。  
群馬県渋川市で加工の乾燥舞茸は137Csが29.9Bq/kgで、P(ピーク)を検出しました。

#### <その他の食品>

所沢市産牛肉は不検出でした。  
日高市産里芋は不検出でした。  
日高市産筍は不検出でした。  
入間市産、自然乾燥させた茶葉は137Csが4.22Bq/kgで、P(ピーク)は検出ませんでした。  
飯能市産のらぼう菜は不検出でした。  
静岡県南伊豆町産スギナは不検出でした。  
千葉県柏市産金柑は137Csが2.68Bq/kgで、P(ピーク)を検出しました。  
千葉県産大和芋は不検出でした。  
茨城県産れんこんは137Csが7.05Bq/kgで、P(ピーク)を検出しました。

#### <土壌>

清瀬市の3つの公園では137Csが低いところでは11.4Bq/kgから、高いところでは917Bq/kg(雨どいの下)検出されました。  
清瀬市の柳瀬川など河川敷の砂利では137Csが6.15Bq/kgから212Bq/kg検出されました。  
所沢市新町の畑は137Csが29.6Bq/kgで、P(ピーク)を検出しました。  
所沢市新町の歩道ふきだまりは137Csが206Bq/kgで、P(ピーク)を検出しました。  
所沢市糞谷の草地は137Csが54.6Bq/kgで、P(ピーク)を検出しました。

【公開測定】以下の測定を行いました。(結果は上記参照)

- <3月22日(木)>・茨城県産れんこん
- <5月10日(木)>・千葉県産大和芋
- <6月9日(木)>・長野県産菌床生椎茸



#### 【測定結果より】

椎茸は産地によってまだまだ検出されています。今回は菌床栽培の椎茸を測定し、長野県産椎茸から検出しました。国産乾燥舞茸からも検出しました。舞茸も注意が必要です。

入間市産茶葉はP(ピーク)を検出しませんでした。検出下限値(2.04Bq/kg)以下で137Csが有りそうです。千葉県柏市産金柑と茨城県産れんこんは、栽培している所の137Cs濃度に左右されている様子です。公園・畑・河原・路傍の土は場所により差が大きくなっています。水の流れて土などの集まりやすい所が要注意です。

## ● 小豆川先生講演会

5/27(日)所沢市生涯学習センターにて、東京大学小豆川勝美先生の講演会を開催しました。

お話の内容は「放射性物質って何?」から始まり「ベクレル」「シーベルト」のこと、「放射性物質の飛び散り方」「食品に含まれる放射性物質」「実際に検出されている食材」「降ってきた放射性物質の動き方」に至るまで多岐にわたりました。動画やグラフ、写真を用いたり、線量計を使っての実験を行うなど、基礎的なことを大変分かり易くお話いただきました。

スマホやタブレットを使って、リアルタイムでアンケートに答えたり質問したりできる最新の講義を体験しました。すでに大学の授業でも取り入れられているそうです。

講演会には市外県外からも参加いただきました。最年少は小学6年生の男の子でした。参加された皆さまから一番印象に残ったことを書いて頂きました。いくつか紹介します。



・「あなたは2ベクレルのりんごを食べますか。」これを体内に入れた場合0.007 $\mu$ sv/hの被曝になることを大した事はないと考えるのか(冬は結構りんごを食べるしな〜)、他にも知らず知らずのうちに食べているので、分かっていることなら回避した方が良いとするのか、最後まで結論が出せない深い問いとなりました。

・市場に出回っている福島県産のものからは検出されない。むしろ北関東産のものから検出されている。それは福島県内ではかなり測定管理されているからで、福島県を出た途端に測定されていない。自家用の福島県産を測定するとやはり検出されていることから検出しなくなったわけではない。未だ未だ測定する事が大切だということ。

・防護服と言っているけど、実は防じん服。砂やほこりに付いた放射性物質を持ち込まないためのもの。何度も現地入りで着ている先生のお話に驚きました。「中は汗でびっしょりサウナ状態、これからの時期は熱中症になりそうで脱ぎたくなる」原発作業員の人たちのことも頭をよぎりました。

・放射性セシウムが動きにくい場所は、竹林・山林。なのでタケノコ、山菜、キノコ、ジビエは測定する必要が大きい。

### 【とらぼ利用者の声】

清瀬市の天野登さんの投稿をご紹介します。とらぼ開設当初から、清瀬市の公園土壌や放射線量を測定し、公開してくださっています。

清瀬市内の放射線量を個人で計測し始めたのは、2012年からです。

最初は中国製の4万円ぐらいでしたが、消費者連盟の調査ではデータのバラつきがひどいとの評価・・・高額でしたが信頼性のある堀場のRADI-PA1000に変更、現在はPA1100を使っています。専門家の方から日立TCSサーベイメータをお借りして比較計測してもほとんど変わりなく簡易型として信頼できます。

さて、今まで継続してこられたのも、福島の方々、関東などに避難してこられた方や専門家などの講演を聞いたり、懇談したり、駅頭スタンディングしている中で仲間が増え会を結成、講師を招いて学習会やDVD映写会などの活動をやりました。5年前からは、清瀬市主催の川まつりと一緒に環境フェアがあり、その一角に私たちもブースを設け、毎年の測定調査データなどを展示しています。今年は市内61か所の公園・広場で計測地点は235になりました。まだ計測していない公園・広場は50か所あるので来年は挑戦したいと思っています。公園・広場などに決めているのは、子どもたちが一番多く集まる場所なので、将来ある子供たちの健康を守るため、と位置づけて継続しています。

さよなら原発いのちとくらしを守る会@清瀬;天野



◎「とらぼ」では以下のような業務をお手伝いしてくれる方を随時募集しています。

測定スタッフ//測定補助・受付手伝い//公園土壌調査プロジェクトスタッフ//公開測定メンバー  
ご自宅やご自宅周辺でできる作業もありますので、ご興味のある方はぜひお問い合わせください。

メール: [tokolabo2013@gmail.com](mailto:tokolabo2013@gmail.com)

電話: 080-6257-2306